

野梅系

原種に近いウメ。中国から渡来したウメの子孫とも考えられる。枝は細く、花も葉も小ぶりであるが、香りは抜群。



やばいしょう
野梅性

トゲ状の小枝が多い。葉は比較的小さく、毛がない。花は白か淡紅が多く、香りが高い。果実は丸い。



なにわしょう
難波性

枝は細く、トゲ状の小枝は少ない。葉は丸く、比較的遅咲きの花は香りが良い。



べにみでしょう
紅筆性

花のつぼみの先が紅く尖っている。



あおじくしょう
青軸性

枝やガクは常に緑色で、花のつぼみも緑白色。花も青白色。

緋梅系

野梅系から変化したもの。枝や幹の内部が紅い。花は大半が紅色か緋色であるが、白花もある。ただし、枝の髄(ずい)が紅いことでこのグループに属する。葉は小さく、木の性質は野梅性に近い。



こうばいしょう
紅梅性

花色は明るい紅色。まれに白花もある。



ひばいしょう
緋梅性

花は濃い紅色(緋色)。新梢は日焼けすると黒褐色となる。多くは樹勢が弱い。



とうばいしょう
唐梅性

咲き始めの花は、桃色から紅色で、終り頃に白くなる。花は下向きで花柄は長いものが多い。

豊後系

ウメとアズの雑種。葉は大きく育ちが良い。花はアズに似て桃色が多い。



ぶんごしょう
豊後性

アズとの雑種性が強い。枝はやや太く、樹勢は強い。新梢が太く、日焼けすると茶褐色になる。葉は丸くて大きく、表面に毛がある。遅咲きの花は大輪で淡紅色が多い。



あんごしょう
杏性

豊後性よりも枝が細く葉も小さい。新梢が細く、日焼けすると灰褐色となる。葉は小さく毛もない。花は遅咲きで香りは低い。